

取り組み方針の変更

熊野川減災協議会

熊野川の取組方針の概要＜主な取組内容＞

ハード対策

ソフト対策

③洪水を安全に流下させる河道と被害を最小限に食い止める粘り強い堤防の整備

- 洪水を河川内で安全に流す対策 ○河道掘削
- 危機管理型ハード対策 ○天端の保護 ○裏法尻の補強

①迫りくる危機を把握し、事前に回避するための避難行動、自主防災意識の向上

- 情報伝達・避難計画等
 - ・タイムラインの検証
 - ・情報提供ツールの検証、「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」更新
 - ・想定最大外力による大規模氾濫の場合の広域的な避難対策の検証
 - 洪水予報文の改善
- 円滑かつ迅速な避難に資する施設整備
 - 円滑かつ迅速な避難に資する施設整備(ソフトインフラ)
 - 住民と行政での避難路の確認・点検および改善
- 平時から住民等への周知・教育・訓練
 - 想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図の策定・公表
 - 想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表
 - ・想定最大外力を対象とした洪水ハザードマップの策定・周知
 - ・実践的な避難訓練の実施
 - 日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、ハザードマップや避難誘導表示板などの整備
 - ・小中学校における水災害教育の実施
 - ・要支援者施設における避難計画の策定及び訓練の促進

②的確な状況把握とそれに応じた効果的な水防活動の実施

- 水防活動の効率化及び水防体制の強化
 - ・消防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施
 - ・消防団や地域住民が参加した重要水防箇所の共同点検の実施
 - 重要危険箇所の水位を観測するための簡易水位計の設置
 - ・必要な水防資機材の配備、関係機関が連携した実働水防訓練の実施
 - 各管理者の情報を一括して配信できる仕組みの必要性の確認と構築
- 市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進
 - ・水防協力団体の募集・指定を促進
 - 大規模氾濫時の庁舎等の機能維持及び重要資機材への影響の確認と有効な対策の実施
 - ・大規模工場等へ浸水リスクの説明、啓蒙活動

④被害発生を防ぎ、一刻も早く浸水を解消させるための排水施設の運用

- 排水施設、排水資機材の運用方法の改善
 - 氾濫水を迅速な排水・排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練を実施
 - 排水施設の耐水化

⑤被災後の迅速な復旧・復興の実現

- 早期復旧を実現するための被災後の対応
 - ・地域防災計画の被災者支援の検証
 - 災害廃棄物処理計画の策定

熊野川の取組方針の概要＜今回の変更点＞

取組み内容の構成

1. はじめに
2. 本協議会の構成員
3. 熊野川の概要
4. 現在の取組状況
5. 減災のための目標
6. 概ね5年で実施する取組
7. フォローアップ

変更内容

概ね5年で実施する取組みについて、取組み機関を明示

項目	目標時期	取組機関	課題の対応
■情報伝達・避難計画等			
・首長も参加したロールプレイング等の実践的な避難訓練の実施	継続的に実施	新宮市、近畿地整	F
・日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、 まるごとまちごとハザードマップや避難誘導表示板などの整備	平成31年度	田辺市、新宮市、近畿地整	C
・小中学校における水災害教育の実施	継続的に実施	田辺市、新宮市、北山村、和歌山県、近畿地整	F
・要支援者施設における避難計画の策定及び訓練の促進	継続的に実施	田辺市、新宮市、和歌山県	E